

予算編成の基本的な考え方

- 平成31年度当初予算は、「やまぐち維新プラン」に沿った新たな県づくりを本格的にスタートする予算とし、山口県の未来を切り拓く「3つの維新」への挑戦を力強く進め、その具現化に向けた取組に的確に対応した編成を行いました。
- また、「3つの維新」への挑戦を支える土台となる揺るぎない行財政基盤を確立するため、行財政構造改革の実現に向けた取組を着実に推進していきます。

1 「やまぐち維新プラン」の具現化に向けた取組の推進

人口減少問題をはじめ、県政が直面する様々な課題に立ち向かい、これを突破していくため、本県が持つ強みや潜在力を活かし、維新プランに基づく「3つの維新」への挑戦を本格化させ、「活力みなぎる山口県」の実現に向けた取組を力強く進めます。

2 持続可能な行財政基盤の確立に向けた取組の着実な推進

県政推進の土台となる揺るぎない行財政基盤を築き上げるため、引き続き、歳出構造改革や財源確保対策の取組を確実に実施し、行財政構造改革の実現に向けた取組を推進していきます。

当初予算のポイント

◆ 当初予算規模（一般会計）

6,854億円（対前年度比 +124億円、+1.8%）

維新プランの早期具現化に向けて、本県の強みと潜在力を活かし、重点的に政策を進める19の「維新プロジェクト」の推進に必要な事業費を計上しました。